

議案 第 38 号

いしかわ歴史遺産の認定について

1 提案理由

「いしかわ歴史遺産」の認定を行うため

2 根拠法令

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条

3 内 容

次頁のとおり

いしかわ歴史遺産の認定について

1 概 要

「いしかわ歴史遺産」は、全国に本県の魅力を発信し、観光誘客や地域活性化を図ることを目的とし、世代を超えて受け継がれている歴史、伝承、風習や有形・無形の文化財をそれぞれ関連づけ、その魅力をわかりやすく説明したストーリーを認定するもので、平成27年度創設した制度である。

なお、平成27年度は5件、平成28年度は3件、平成29年度は3件認定している。

2 これまでの経緯

6月末～8月末	市町から認定申請を受付
9月～10月	市町からのヒアリング及び現地調査
11月27日(火)	いしかわ歴史遺産認定審査委員会にて認定候補の選定

3 認定候補(案)

加 賀 市	「大聖寺十万石城下町 ～江戸時代の町絵図で歩ける町～」
津 幡 町	「いにしへの記憶をたどる道 ～倶利伽羅峠～」

4 認定日

認定証交付の日

大聖寺十万石城下町 ～江戸時代の町絵図で歩ける町～ (加賀市)

白山信仰の中心地のひとつであった「大聖寺」を名前の由来に持つ大聖寺は、戦国時代には大聖寺城が築かれ、江戸時代には大聖寺藩の城下町として、庭園や長流亭を備える藩邸を中心に武家屋敷や町屋、寺院などが建ち並んでいた。

明治維新で大聖寺藩が消滅したあとも多くの歴史的建造物が残され、町割りもほぼ江戸時代のまま残っており、江戸時代の町絵図で街歩きを楽しむことができる。

また、能楽等の芸能・嗜みや伝統的猟法「坂網猟」など大聖寺藩時代に生まれた伝統文化が現在にも息づいている。



江沼神社長流亭



旧大聖寺藩邸庭園



実性院御霊屋

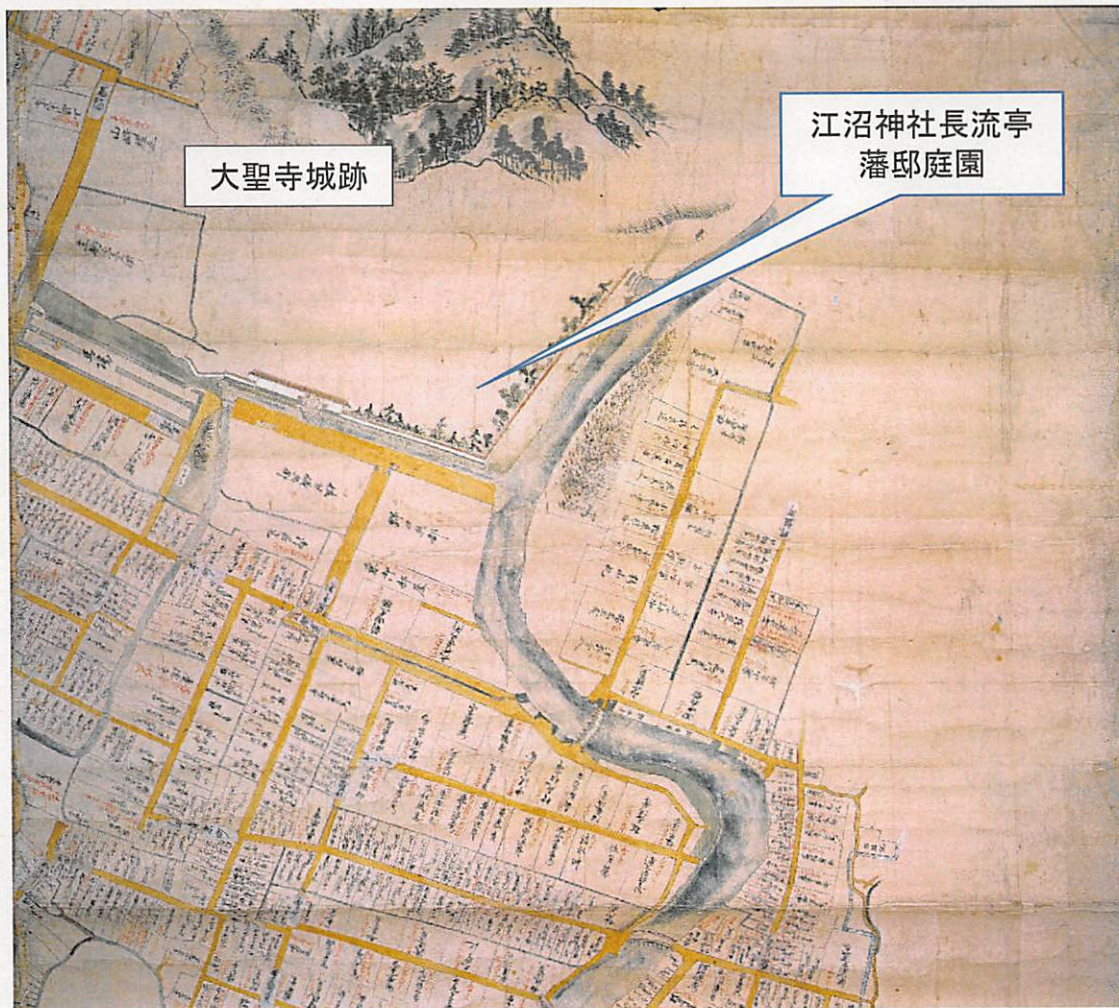
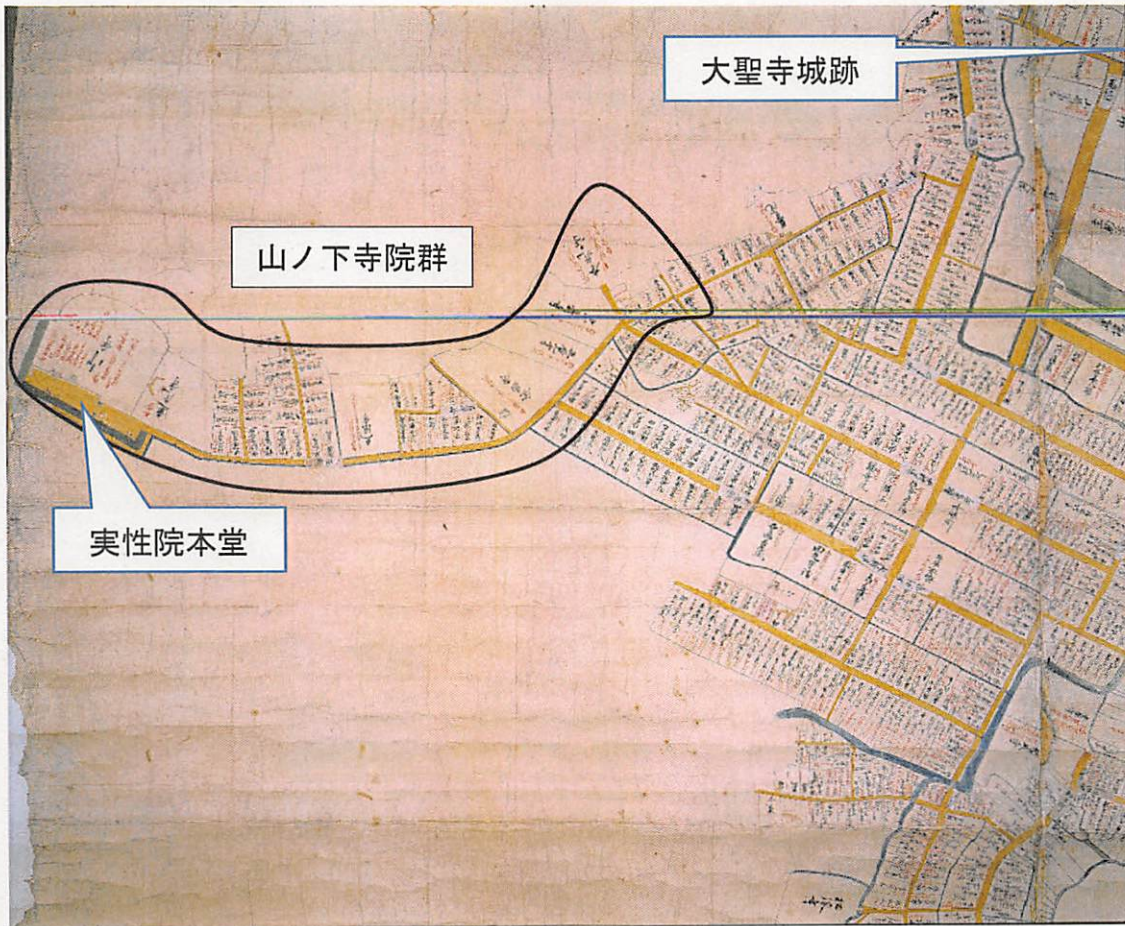


大聖寺町絵図

「大聖寺十万石城下町 ～江戸時代の町絵図で歩ける町～」主な構成文化財一覧表

番号	文化財の名称	指定等の状況	説明
1	江沼神社長流亭	国指定 (建造物)	宝永6年(1709年)に三代藩主前田利直が築いた別邸
2	坂納獵法とその用具	県指定 (有形民俗)	大聖寺藩士の武術鍛錬の一環として伝承された獵法で現在もほぼ同じ方法で行われている
3	大聖寺藩邸河道跡及び北面石垣	市指定 (史跡)	熊坂川(旧大聖寺川)に面する大聖寺藩邸の船着場として使われていた遺構
4	旧大聖寺藩邸庭園	市指定 (名勝)	大聖寺藩邸内に作られた池泉廻遊式の庭園で現在も藩政期の面影を残す
5	大聖寺藩主一族廟所	市指定 (史跡)	大聖寺藩主前田家の菩提寺「実性院」にある大聖寺藩主全14代の墓所
6	実性院本堂・実性院御霊屋	市指定 (建造物)	「山ノ下寺院群」の一角を占める大聖寺藩前田家の菩提寺「実性院」の本堂および御霊屋
7	大聖寺城跡	市指定 (史跡)	大聖寺城下町の原型を作った安土桃山時代の城跡
8	お松囃子	市指定 (無形民俗)	前田利豊が庇護し、江戸時代から継承されてきた能楽正月行事
9	能面(狸々、孫次郎、翁)	市指定 (工芸品)	大聖寺藩前田家に伝来した江戸時代の能面で現在江沼神社が所有している
10	能装束(松竹模様長絹、鷹模様唐織、扇面模様唐織)	市指定 (工芸品)	大聖寺藩前田家に伝来した江戸時代の能装束で現在江沼神社が所有している
11	能面(橋姫、浅井増女、翁)	市指定 (工芸品)	菅生石部神社に伝来した能面
12	卯花絲織二枚胴童具足	市指定 (工芸品)	大聖寺の文化を庇護した14代藩主利豊が元服時に使用した大名家童具足
13	大聖寺町絵図	市指定 (歴史資料)	江戸後期の精密な大聖寺城下町全体絵図で現在も残る道や町割を確認できる
14	山ノ下寺院群	未指定	大聖寺藩時代に作られた7寺1神社が建ち並ぶ寺院群

大聖寺町絵図



いにしえの記憶をたどる道 ～倶利伽羅峠～ (津幡町)

倶利伽羅峠は、石川県と富山県境（加賀と越中の境）に位置する。峠に至る道には蝸牛坂（かたつむりざか）や一騎打ちとよばれる急峻な所も多く難所とされてきた。旅人は「手向けの神」に祈りを捧げ、頂上の泉などで疲れを癒しながらこの道を越えていった。

また峠は軍事的にも重要であったため、ここを舞台とした戦いが幾度となく繰り広げられており、城や陣跡が点在している。

倶利伽羅峠を歩くことによって、いにしえの旅人と同じ目線でその歴史や、加越能の眺望を体感できる。



北国街道倶利伽羅峠道



龍ヶ峰城跡



長楽寺跡
(現 倶利伽羅不動寺)



手向神社石堂神殿

「いにしへの記憶をたどる道 ～俱利伽羅峠～」主な構成文化財一覧表

番号	文化財の名称	指定等の状況	説明
1	北国街道俱利伽羅峠道	県指定 (史跡)	俱利伽羅峠の西約2kmの未舗装区間が対象。街道の景観は良好で、カマボコ状の路面には道路側溝が残り、近世の街道の様子をうかがい知ることができる。
2	教願寺梵鐘	町指定 (工芸品)	竹橋宿にある教願寺の梵鐘。江戸中期の鋳物師として有名な初代寒雉の作である。
3	俱利伽羅合戦図屏風	町指定 (絵画)	江戸時代、津幡町の絵師池田九華によって合戦の様子が描かれた屏風。源平盛衰記に記載されている「火牛の計」の様子が描かれている。
4	龍ヶ峰城跡	町指定 (史跡)	街道を見下ろす交通上の要地に位置する山城跡。天正10年(1582)には上杉謙信と一向一揆の戦いの場となり、後に佐々成政と前田利家が北国の覇権を争い、攻防戦が繰り広げられた。本城跡から加越国境沿いの城跡群が一望できる。
5	手向神社石堂神殿	町指定 (建造物)	古くは万葉集に「手向の神」と記されている。近世初期に加賀藩三代藩主前田利常により建立された。不動堂、のち御影堂と称した。神殿は越前の笏谷石製(凝灰岩)で、もとは九尺四方の高欄付きであった。
6	俱利伽羅権現石殿附石段	町指定 (建造物)	手向神社境内の国見山山頂に建つ4棟の石の祠。加賀藩5代藩主前田綱紀によって寄進されたものである。石材は青戸室石を使用している。
7	長楽寺跡 (現 俱利伽羅不動寺)	町指定 (史跡)	養老2年(718)善無畏三蔵による開山と伝えられる古刹。門前には茶屋が並んでおり、峠越えの旅人の憩いの場ともなっていた。
8	十一面観世音菩薩像	町指定 (絵画)	掛軸として表装された彩色絵画像で、鎌倉時代初期の頃のものといわれる。現在の俱利伽羅不動寺に伝わっている。
9	羅漢像	町指定 (絵画)	明の国、呉偉の作品で絹布に描かれ、表装も中国のものといわれている。現在の俱利伽羅不動寺に伝わっている。
10	阿弥陀如来像	町指定 (彫刻)	明治の廃仏毀釈により津幡町倉見地内に移転されていたものが、俱利伽羅不動寺に戻ったものである。室町期の作であると思われる。

位置図



- 構成文化財
- | | |
|--------------|-------------------|
| ① 北国街道俱利伽羅峠道 | ⑥ 俱利伽羅権現石殿附石段 |
| ② 教願寺梵鐘 | ⑦ 長楽寺跡(現 俱利伽羅不動寺) |
| ③ 俱利伽羅合戦図屏風 | ⑧ 十一面観世音菩薩像 |
| ④ 龍ヶ峰城跡 | ⑨ 羅漢像 |
| ⑤ 手向神社石堂神殿 | ⑩ 阿弥陀如来像 |

いしかわ歴史遺産認定ストーリー

○ 平成27年度(平成28年1月20日認定)

No	申請市町 (関係市町)	ストーリータイトル	備考
1	金沢市	三つの寺院群と茶屋街 ～歩く・観る・祈る～	
2	七尾市	七尾城が語る「能登の戦国都市物語」	
3	小松市	平安の世の歴史物語が息づく歌舞伎のまち・小松	
4	輪島市	平家の末裔 時国氏の繁栄	
5	羽咋市 (宝達志水町、 志賀町)	「漂着神(よりがみ)」の聖地 ～日本海交流が伝える祈りと祭りの文化財めぐり～	

(5件 5市2町)

○ 平成28年度(平成29年1月20日認定)

No	申請市町 (関係市町)	ストーリータイトル	備考
6	金沢市	きらめきに包まれるまち ～今に息づく金沢の金箔～	
7	白山市	加賀の白山と水の文化	
8	能登町 (珠洲市、輪島市、 七尾市、羽咋市、 宝達志水町、中能 登町、志賀町、穴 水町)	能登半島を彩る深紅の花 ～のとキリシマツツジ古木群～	

(3件 6市5町)

○ 平成29年度(平成30年2月6日認定)

No	申請市町 (関係市町)	ストーリータイトル	備考
9	七尾市	能登国府を探る ～能登立国1300年～	
10	輪島市 (羽咋市)	能登の禪の古刹と古道を歩く ～永光寺から總持寺へ～	
11	中能登町 (羽咋市、志賀町)	能登の王墓 ～半島を舞台に躍動したノトの王～	

(3件 3市2町)